

3

第3編 夢と誇りを創るまち

第1章 子どもの夢を育むまちづくり

- 第1節 生きる力を育む教育の充実**
- (1) 学力の向上
 - (2) 豊かな心を育む教育の充実
 - (3) 健やかな体の育成の推進
 - (4) 一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の充実
 - (5) 食育の推進
 - (6) 歴史、文化の尊重と国際理解を育む教育の推進
 - (7) 生命の大切さを学ぶ教育の推進
 - (8) 特色ある学校づくり
- 第2節 学習環境の充実**
- (1) 学校施設の整備・充実
 - (2) 学習設備の充実
- 第3節 地域社会との連携強化**
- (1) 地域との協力体制の構築
 - (2) 学校情報提供の双方向性の確立

第2章 豊かな心を培うまちづくり

- 第1節 生涯学習の推進**
- (1) 学習機会の充実
 - (2) 学習活動の支援
 - (3) 生涯学習環境の整備
- 第2節 歴史の継承と文化の振興**
- (1) 歴史の継承
 - (2) 文化・芸術活動の機会の充実と支援
- 第3節 生涯スポーツの推進**
- (1) スポーツ機会の充実
 - (2) スポーツ環境の整備

第3章 協働で創るまちづくり

- 第1節 協働環境の充実**
- (1) 推進体制の整備
 - (2) 協働情報の充実
 - (3) 地域コミュニティ活動の支援
 - (4) 男女共同参画の推進
- 第2節 まち情報共有の推進**
- (1) 市政情報の充実
 - (2) 情報化の充実
- 第3節 行政力の強化**
- (1) 開かれた行政運営の推進
 - (2) 行財政基盤の構築
 - (3) 広域行政の推進

第1章 子どもの夢を育むまちづくり

現状と課題

◇ 学校は、子どもにとって楽しい学びの場です。しかし、子どもたちを取り巻く環境は、少子化の進展や経済的格差の拡大などによって、複雑化、多様化が急速に進んでいます。さらに、家庭や地域における教育力の低下、子どもの学ぶ意欲や体力の低下、問題行動の増加など、多くの課題が指摘されています。このような中、「塩竈」の未来を担う子どもたちには、“生きる力”をしっかりと身に付けることが求められています。具体的には、“確かな学力”“豊かな心”“健やかな体”をバランスよく育成していくことが課題であり、教師の指導力の向上や学校と家庭・地域との一層の連携が求められています。

不登校生徒は、ここ数年増加傾向にあります。けやき教室と学校との連携を強化し、不登校生徒の学習権利の確保と学校への早期復帰に取り組む必要があります。

また、いじめなどの問題行動をいち早く把握し迅速に対応するため、スクールカウンセラーや青少年相談センターなどの関係機関と学校と家庭・地域が連携した、きめ細かな支援体制が必要となっています。

障がいを持つ子どもたちへの教育については、一人ひとりの障がいに合わせてきめ細かな指導を行っています。今後も教職員の専門性を深め、指導力を高めることが重要です。

食生活の乱れが叫ばれている今日、学校給食の役割はますます重要になってきています。今後も、豊かで安全な給食を提供するための体制整備とともに、「塩竈」ならではの“おいしさ”あふれる食文化を取り入れた給食の充実が求められています。

「塩竈みなと祭」などの地域行事への参加は、児童生徒の郷土愛の醸成と地域づくりへの関心を高める働きがあり、これを促進していく必要があります。

併設・特認校である浦戸第二小学校と浦戸中学校については、今後も特色ある教育を推進していくことが求められています。



【けやき教室】学校不適応児童生徒の個々の状態に応じた指導を行い、学校生活への復帰を図るために設置された適応指導教室のこと。
【スクールカウンセラー】人間関係の悩みや不登校などの相談について、児童生徒、保護者へのカウンセリングや教員に対する助言を行う臨床心理の専門家のこと。



浦戸あっぱれ太鼓

- ◇ 安全・安心な学校環境づくりについては、最優先課題であった小中学校の耐震化工事を完了していますが、引き続き、施設の改修などを計画的に進める必要があります。

また笑顔あふれる学びの場づくりのために、学校 I C T（情報通信技術）の環境整備をはじめ、学校図書、教材備品の充実が求められます。

- ◇ 地域に支えられ、家庭・地域に信頼される学校づくりを推進していくため、P T Aや町内会などとの協力や連携が一層求められています。今後も、学校評議員制度や学校支援ボランティア制度の積極的な活用が求められています。

市民とともに目指す目標 ◆◆◆◆◆

- 心豊かで健やかに生きる子どもたちを育むまちをつくります。
- 子どもたちが安心して学べる教育環境をつくります。
- 学校・家庭・地域が協働して子どもたちの成長を支えるまちをつくります。



箏楽の授業



【学校評議員制度】学校の職員以外の者で教育に関する理解及び識見を有するものの中から、校長の推薦により、教育委員会が委嘱する。校長の求めに応じ、学校運営に意見を述べることができる。

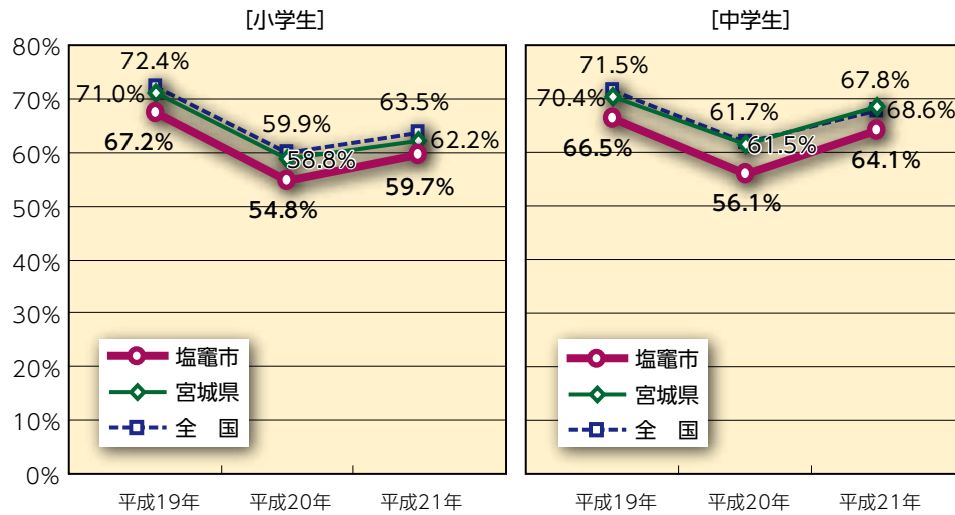
【学校支援ボランティア制度】学校の教育活動について、地域の教育力を生かすため、保護者や地域の人々が、ボランティアとして学校をサポートする活動。登下校時の安全を確保する安全サポーターをはじめ、ゲストティーチャーや図書ボランティアなどの活動がある。

代表的な指標

指標名	基準値	今後の方向性
全国学力・学習状況調査の正答率 全国学力・学習状況調査の4科目の平均正答率。	小学生59.7% 中学生64.1% (H21)	H21において小学生では、4科目における全国平均から3.8ポイント、県平均から2.5ポイント下回っており、中学生では全国平均から3.7ポイント、県平均から4.5ポイント下回っている状況を、少人数指導の充実や教師の指導力向上、家庭学習の充実を図り、全国・県平均を5ポイント以上上回るようにしていきます。
「学校で好きな授業がある」と答えた児童生徒の割合 全国学力・学習状況調査による「学校で好きな授業がある」と答えた小中学生の割合。	小学生88.3% 中学生67.3% (H21)	小中学生が魅力を感じる授業を行うことで、県平均を上回るようにしていきます。
1時間以上家庭学習をしている児童生徒の割合 全国学力・学習状況調査による1時間以上家庭学習をしている小中学生の割合。	小学生50.0% 中学生54.1% (H21)	家庭との連携をさらに進めることで、県平均を上回るようにしていきます。
児童生徒の体力・運動能力 小中学生の体力・運動能力調査の50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げの3種目において県平均を上回っている種目数。	小学生1種目 中学生1種目 (H21)	体育の授業や部活動などで体力・運動能力を高め、全種目で県平均を上回るようにしていきます。
中学生の不登校の割合 中学校に登校していない生徒の割合。	5.1% (H21)	積極的な相談活動や指導、関係機関との連携を密にしながら減らしていきます。
地域の行事に積極的に参加している児童生徒の割合 「塩竈みなと祭」など、地域の行事に積極的に参加している小中学生の割合。	小学生66.1% 中学生33.9% (H21)	学校・地域が一体となって、小中学生の参加率を高めていきます。



体育の授業



〔全国学力・学習状況調査の正答率の推移〕



授業の様子

サマースクール



施策体系

第1節 生きる力を育む教育の充実	定住	交流	連携
(1) 学力の向上	◎	○	○
① 教員補助者を配置して少人数指導を進め、基礎学力の定着に取り組みます。またサマースクールや浦戸合宿に取り組みます。 ② 学ぶ意欲と学んだことを活用して自ら考える力を育み、幅広い学力の向上に取り組みます。 ③ 児童生徒の実態に応じて、家庭と協力しながら基本的生活習慣、学習習慣の定着に取り組みます。 ④ 教師の資質・指導力向上のため、研修や校内研究を推進します。			
(2) 豊かな心を育む教育の充実	◎	○	◎
① 学校や社会生活におけるすべての場面で、人を思いやる心を育む教育を推進します。 ② 小中学校における宿泊学習などの体験活動をはじめ、ボランティア活動や農業・漁業・社会・自然体験（浦戸諸島など）を生かした心の教育に努めます。 ③ いじめ、不登校などの児童生徒に適切に対応するため、スクールカウンセラーを学校に配置するなど相談体制を充実させ、学校・家庭・相談機関が一体となって取り組みます。また、けやき教室との連携を図ります。			
(3) 健やかな体の育成の推進	◎	○	○
① 体育の授業、部活動、休み時間を通じて、児童生徒の体力・運動能力の増進に取り組みます。 ② 心身ともに健康な児童生徒の育成を図るため、健康管理や相談・指導体制の充実に取り組みます。			
(4) 一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の充実	◎	○	○
① 一人ひとりの障がいに応じ、発達段階に配慮した適切な指導及び支援に取り組みます。 ② 小中学校へ支援員を配置し、特別支援教育の充実に努めます。			



【サマースクール】児童生徒の自主的な学習の習慣化を支援するため、夏休みに、通学している小中学校を会場として開催。自主学習と併せ、市独自の教材（小学校）を活用して学習し、分からないことや疑問点は教員や学習支援員がサポートする。保護者からの家庭学習などについての相談にも応じている。



学校給食

(5) 食育の推進

- ① 家庭と一緒に「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣の定着を図り、笑顔あふれる楽しい学校づくりに取り組みます。
- ② 安全・安心な学校給食を提供するとともに、「塩竈」ならではの“おいしさ”あふれる食文化（地産地消）の活用に取り組みます。
- ③ 多様な献立の実施や楽しく食べる環境づくりなどを行い、給食内容の充実に努めます。

(6) 歴史、文化の尊重と国際理解を育む教育の推進

- ① 地域との連携を強め、社会体験や自然体験などの体験活動を通して、「塩竈」の歴史や文化と触れ合う機会の創出に取り組みます。
- ② 外国語指導助手の活用を図り、外国語教育と国際理解教育を推進します。
- ③ 児童生徒が地域行事や祭りに積極的に参加できるよう努めます。

(7) 生命の大切さを学ぶ教育の推進

- ① さまざまな体験活動などを通して、自分を大切にする心を育むことに努めます。
- ② 命のつながりを気付かせ、他人を認め、互いに尊重し合う生き方を育むことに努めます。

(8) 特色ある学校づくり

- ① 併設・特認校である浦戸第二小学校や浦戸中学校をはじめ、一人ひとりの子どもの個に応じた特色ある教育を推進します。

市民の声

「『子どもの教育の充実』を掲げ、他県などで実施されている「予習・復習・朝ごはん」のような取り組みが必要だと思います。」

「子ども達が本物の芸術・文化・技術（職能等）に触れる機会をより多くつくるのが大事です。」

（市民懇談会ひとづくり分科会）

第2節 学習環境の充実	定住	交流	連携
(1) 学校施設の整備・充実	◎	○	○

- ① 学校施設の良好な環境の維持に努めます。
- ② 安全・安心な学校給食を提供するため、計画的に給食施設の整備を図ります。

(2) 学習設備の充実	◎	○	○
-------------	---	---	---

- ① I C T（情報通信技術）教育、環境教育、国際理解教育などの多様化する学習に対応するため、設備や備品などの充実を図ります。

第3節 地域社会との連携強化	定住	交流	連携
(1) 地域との協力体制の構築	○	○	◎

- ① 自立した社会人を目指すため、経済界などと連携し、職業や働くことの大切さを学ぶ機会の充実を図ります。
- ② 児童・生徒の安全確保や学校環境の維持を図るため、地域の支援体制づくりに取り組みます。

(2) 学校情報提供の双方向性の確立	○	○	◎
--------------------	---	---	---

- ① 開かれた学校づくりのため、学校評議員制度の充実を図るとともに、各種だよりやホームページを通じて家庭・地域への積極的な教育情報の発信に取り組みます。
- ② 児童生徒の安全を図るため、地域と双方向に情報を交換できる体制の構築に取り組みます。

市民の声

「『なんでも体感団』など、早くから子どもと地域のつながりが築かれてきました。今後もこの取り組みを深めていくことが必要だと思います。」

「親以外の大人との交流や、学校や町内会を活用した世代間の交流を進めるなど、さまざまな地域との交流を通した『学び』の機会が必要だと思います。」

（市民懇談会ひとづくり分科会）



塩竈こどもゆめ議会

市民ができること ◆◆◆◆◆

- ☐ あいさつなどの声かけを行い、子どもたちを地域の宝として大切に育てます。
- ☐ P T A活動やボランティア活動に積極的に参加し、児童生徒の安全確保や学校運営に協力していきます。
- ☐ 子どもの基本的な生活習慣や家庭における学習習慣の定着に努めます。
- ☐ まちに関心を持ちながら勉強や運動に励み、将来「塩竈」を愛する大人になります。



立志式

ひとくちメモ

浦戸第二小学校・浦戸中学校

住所：〒985-0036 宮城県塩竈市浦戸野々島字馬越8
TEL：022-369-2008 FAX：022-365-3741

施設内容

浦戸の豊かな自然の中で、地域に根差した演劇活動など、特色ある教育活動を展開する小中併設校です。県内初の特認校として、保護者や子どもの希望があれば、学区外からも児童生徒を受け入れることができるようになっています。





第2章 豊かな心を培うまちづくり

現状と課題

- ◇ 本市は、生涯学習社会の実現を目指し、市民が学習活動や文化・芸術活動に主体的に取り組む機会の創出や支援に努めてきました。その結果、各生涯学習施設は高い利用率を誇っています。特に「ふれあいエスパ塩竈」は、市民をはじめ多くのボランティアの活動や自主的な学習活動が盛んに行われ、特徴ある施設となっています。

青年層の社会参加を促す事業や、団塊の世代の学習機会の確保などが今後の課題となっています。また、多様化・高度化する市民の学習意欲に応えるため、学習に関する情報の提供と相談体制の確立、関係機関とのネットワークの構築、生涯学習ボランティアの育成などが一層求められています。さらに、生涯学習施設の運営の適正化と、施設・設備の計画的な維持管理が求められています。

- ◇ 本市は、伝統文化の継承やイベントの展開、創作活動などを通じて、多彩で魅力的な地域文化をつくってきました。しかし、図書館に歴史展示室があるものの、史料や文化財などの収集、保存、管理体制は十分ではなく、今後の課題となっています。

また、塩竈学問所講座や塩竈学シンポジウムなどによって、多くの市民の郷土意識を培ってきましたが、学習の成果を地域づくりに反映する継承者となるべき青年層の参加が課題となっています。さらに、歴史ある塩竈市美術展、「しおがま文化大使」とともに取り組む事業、「長井勝一漫画美術館」の事業などは、文化・芸術の高揚はもとより、都市のイメージアップの効果や交流人口の拡大にもつながっています。今後も積極的な取り組みが求められています。

- ◇ 生涯スポーツの拠点施設である体育館や温水プールは指定管理者制度を導入するなど、市民サービスの向上と効率的な運営に努めていますが、施設や設備の改修・更新が課題となっています。屋外施設についても、より利用しやすい管理が求められています。

また、スポーツをする人の割合は、塩竈市スポーツ振興計画で定めた“週1回以上運動をする人の割合が50%”という目標に近づきつつあります。今後は、児童生徒の基礎体力向上はもとより、高齢社会における生涯スポーツの普及に向けた取り組みが一層求められています。生涯スポーツ社会の実現のため、“いつでも・だれでも・気軽に・いつまでも”スポーツを楽しむことができるクラブ組織の設立と育成が課題となっています。



【指定管理者制度】・・・多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上と管理経費の節減などを図ることを目的とした制度のこと。



千賀の浦大学の開講式

市民とともに目指す目標 ◆◆◆◆◆

- 笑顔にあふれ、心豊かに生活していくため、生涯にわたって学び、交流できる環境をつくります。
- 「塩竈」の歴史、文化・芸術の保存、継承、創造を大切にするまちをつくります。
- 生涯にわたってスポーツができる環境をつくります。



スポーツフェスティバル

市民の声

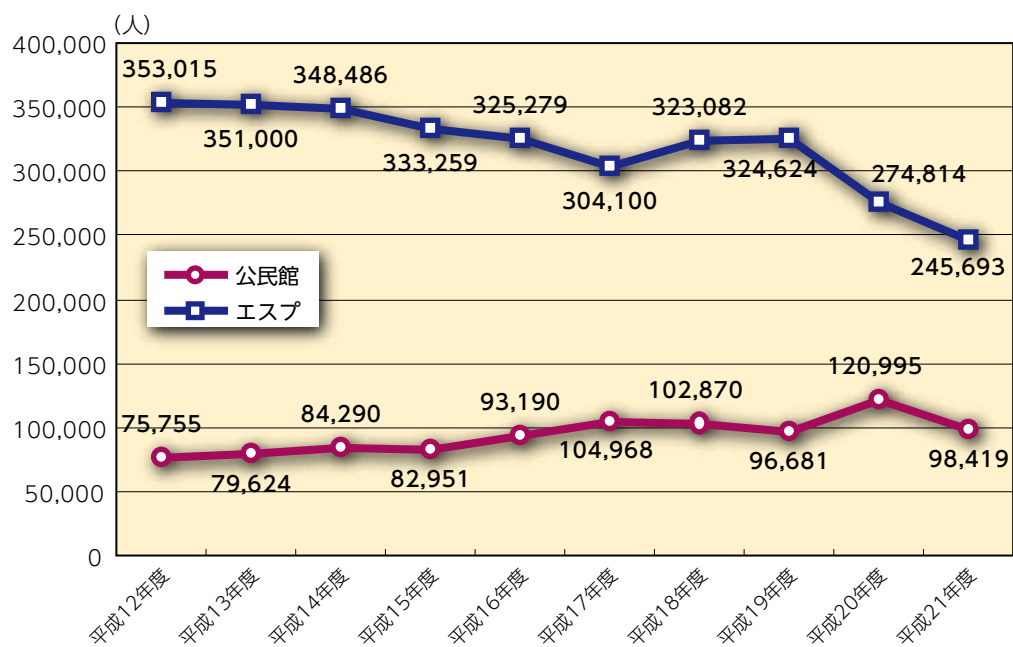
「郷土への愛着や誇りを育むために、地元学のさらなる推進が必要だと思います。」

「スポーツに親しめる機会や環境を整備していくことが大切だと思います。」

(市民懇談会ひとづくり分科会)

代表的な指標

指標名	基準値	今後の方向性
生涯学習活動の満足度 市民意向調査による生涯学習活動に対する満足度。	58.8% (H21)	生涯にわたって学習できる環境を整えながら満足度をさらに高めていきます。
歴史、文化・芸術活動振興の満足度 市民意向調査による歴史、文化・芸術活動の振興に対する満足度。	62.2% (H21)	「塩竈」の歴史、文化・芸術の保存、継承に努め、満足度をさらに高めていきます。
スポーツ振興の満足度 市民意向調査によるスポーツ振興に対する満足度。	64.2% (H21)	スポーツの機会の充実や環境の整備を推進し、満足度をさらに高めていきます。



〔生涯学習施設の利用者数の推移（各年度末）〕

市民の声

「生涯学び続けられるように、ニーズに応じた学習の機会の提供が求められています。」

(市民懇談会ひとづくり分科会)

市民図書館



施策体系 ◆◆◆◆◆

第1節 生涯学習の推進	定住	交流	連携
(1) 学習機会の充実	◎	○	◎
① 多様化・高度化する市民の学習意欲に対応した学習機会を充実するとともに、学習活動を支援する出前講座の充実を図ります。 ② 各世代にふさわしい多様な学習機会の提供に取り組みます。			
(2) 学習活動の支援	◎	◎	○
① 市民の自主的な学習活動を支援するため、学習情報の提供と相談体制の充実を図ります。 ② 社会教育関係団体、生涯学習ボランティア、自主サークルなどを育成・支援するとともに、活動のネットワークづくりを推進します。			
(3) 生涯学習環境の整備	◎	○	◎
① 社会教育施設・文化施設の効率的・効果的な管理運営に取り組むとともに、学校、民間の学習施設、近隣市町村の学習施設などとの連携を強化し、学習環境の整備に努めます。			



長井勝一漫画美術館（ふれあいエスプ塩竈）



鹽竈神樂

第2節 歴史の継承と文化の振興	定住	交流	連携
(1) 歴史の継承	◎	◎	○
① 「塩竈」の歴史に親しみ、それを次代につなぐため、保存、研究、継承活動を推進します。 ② 本市の歴史の魅力ある情報を内外に積極的に発信し、文化財、歴史的建造物、食文化など、本市の歴史、文化を生かしたまちづくりや交流を推進します。 ③ ホームページ上で本市所蔵の歴史、文化関係資料の公開を図り、内外への魅力発信に取り組みます。			
(2) 文化・芸術活動の機会の充実と支援	◎	◎	◎
① 文化・芸術の振興を図るため、文化・芸術に親しむ機会をつくるとともに、個人、団体活動への支援に努めます。			

第3節 生涯スポーツの推進	定住	交流	連携
(1) スポーツ機会の充実	◎	◎	○
① 楽しく、健康的で、感動を伝える生涯スポーツの普及と振興に取り組みます。 ② スポーツを通して、まちににぎわいが創出される事業に取り組みます。			
(2) スポーツ環境の整備	◎	○	◎
① 各世代が気軽に参加できるスポーツクラブの設立や育成に取り組みます。 ② スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営に努めます。 ③ 子どもから高齢者まで、いつでもスポーツに親しめるように、民間団体と連携し、環境整備に努めます。			

市民の声

「市民と行政が地域独自の歴史や文化を積極的に発信し、それらを生かしながら、活力ある地域社会づくりを展開することが大事です。」

「ふれあいエス塩竈には、漫画雑誌『ガロ』などの貴重な資料が保存されています。」

(市民懇談会活力づくり分科会)



塩釜ガス体育館

市民ができること ◆◆◆◆◆

- ☐ 心豊かで充実した生活が送れるよう、生涯を通して積極的に学習活動を行います。
- ☐ 学習活動を通して市民相互の連携を深め、まちづくりに参加します。
- ☐ 本市の魅力ある歴史を深く理解し、発信するよう努めます。
- ☐ 文化・芸術活動に親しみます。
- ☐ 楽しみや健康づくりのため、週1日以上積極的に運動します。

ひとくちメモ

ふれあいエスプ塩竈

住所：〒985-0036 宮城県塩竈市東玉川町9-1
TEL：022-367-2010 FAX：022-365-3741

施設内容

エスプとは、enjoy（楽しむ）、study（学ぶ）、play（遊ぶ）の頭文字から愛称が付けられました。生涯学習に関する情報発信や図書室、音楽スタジオ、ホールなど、子どもからお年寄りまで、学び、遊びを通して交流できる生涯学習施設です。また、本市出身で、漫画雑誌『ガロ』の編集長 長井勝一氏を顕彰する「長井勝一漫画美術館」も併設されています。





第3章 協働で創るまちづくり

現状と課題

- ◇ 価値観とともにまちづくりに対する市民ニーズも多様化しています。これからのまちづくりにおいては、市民、町内会、企業、団体などの多様な担い手が行政と互いの立場を理解・尊重し合い、役割を分担しながら、それぞれの力を生かし連携する市民協働が必要となっています。さらに、地域のあり方として一人暮らしの高齢者の見守り、災害時における助け合いなど、地域住民が自らの意志で取り組み、解決していく自治の力を持つことが求められています。

また、女性の就労状況や子育てと仕事の両立、地域における発言力などは進展しておらず、真の男女共同参画社会の実現に向けた新たな取り組みが必要となっています。

- ◇ 市民協働による地域の特性を生かしたまちづくりを行うためには、市政や市民活動の情報を共有する必要があります。これまで広報紙やホームページを媒体にマスコミなどを活用し市政や市民活動の情報を発信していますが、最新の情報をさらに広く、深く共有することが課題となっています。

また、都市間競争の時代にあって、市のイメージアップに向け、観光や経済、住みよさなど、まちの情報を国内外に幅広く発信する必要があり、情報高度化に対応し、さまざまな情報媒体・手法を活用する必要があります。

- ◇ 市民が安心して暮らしていくために、質の高い行政サービスが大切です。

本市では、行財政改革の推進によって健全化に努めている過程であり、安定的な財政状況に移行しつつありますが、市税は、地域経済の低迷や人口の減少によって減少傾向にあり、一方では社会保障関係の支出が増大しています。このため、今後ますます厳しい財政運営が予想され、行財政改革のさらなる推進によって、計画的で安定的な財政運営が求められています。

また、さまざまな行政課題に対応していくため、組織力の向上と、政策立案や政策法務能力、実行力、高い意識とすぐれた資質を持つ人材の育成が必要となっています。

本市は周辺市町と歴史的にも経済的にも住民相互の関わりが深く、これまでも行政の枠を越えて共通した諸問題に対応してきました。また、山形県村山市をはじめ観光や防災協定など県域を越えた都市間交流も展開しております。

今後も福祉の向上など共通の諸問題を協議するとともに、新たな時代に対応した広域連携の研究とさらなる広域行政の拡大が求められています。

市民とともに目指す目標 ◆◆◆◆◆

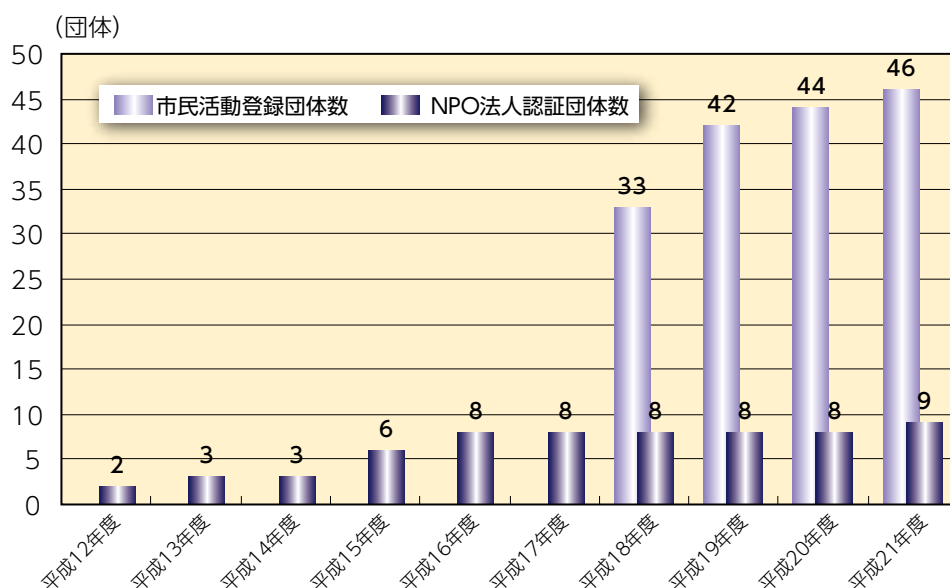
- 市民、町内会、企業、団体が、それぞれの特性を生かし、まちづくりへ参加していく意識を高め、ともにつどい、活動しやすい環境をつくります。
- 市民と行政のパートナーシップ確立のため、市政情報の積極的な受発信をするとともに、本市の魅力を「塩竈ブランド」として国内外に広く発信する体制をつくります。
- 行財政改革を推進し安定的な財政運営を行うとともに、周辺市町村との連携によって、効率的で持続的な行財政基盤をつくります。



市民懇談会の様子

代表的な指標

指標名	基準値	今後の方向性
市民活動団体数 市内に拠点を置くNPO 団体などの市民活動団体数。	46団体 (H21)	市民協働を推進しながら社会貢献活動を行う団体を増加させていきます。
民間団体の連携事業実施数 民間団体との共催、助成などを行う事業の実施回数。	31回 (H21)	民間団体の交流や活動を支援し、協働を促進することによって事業実施回数を増加させていきます。
審議会などの委員会の女性委員比率 審議会など各種委員会における女性委員の占める割合。	30.9% (H21)	男女共同参画を推進しながら女性が参画する機会を増やしていきます。
市ホームページのアクセス数 市ホームページにアクセスする1日の平均件数。	5,900 件 (H21)	マスコミを積極的に活用するとともに、広報紙やホームページを媒体に市政情報を積極的に発信し、市ホームページのアクセス件数をさらに増加させていきます。



〔市民活動団体数の推移（各年度末）〕

※市民活動団体登録団体制度は平成18年度からスタートのため、平成18年度以降の数値のみ把握



地区懇談会

指標名	基準値	今後の方向性
健全化判断比率		財政健全化法に基づく下記の4指標について、今後とも国の基準を大幅に下回るように努め、安定的な財政運営の実現を図っていきます。
実質赤字比率 一般会計などにおける実質赤字の市税・交付税など一般財源規模に対する比率。	黒字 (H21)	※国の基準(H21 13.06%)
連結実質赤字比率 全会計における実質赤字の市税・交付税など一般財源規模に対する比率。	黒字 (H21)	※国の基準(H21 18.06%)
実質公債費比率 主に一般会計などが負担する元利償還金の市税・交付税など一般財源規模に対する比率。	8.2% (H21)	※国の基準(H21 25.0%)
将来負担比率 主に一般会計などが負担すべき実質的な負担の市税・交付税など一般財源規模に対する比率。	100.4% (H21)	※国の基準(H21 350.0%)



【財政健全化法】財政の健全化や再生が必要な場合に迅速な対応を取るために、地方公共団体の財政状況を統一的な指標で明らかにすることを義務付けた法律。

【一般会計】地方公共団体の行政運営の基本的な経費を計上した会計のこと。

【一般財源】地方税、地方交付税など、使途が特定されず、どのような経費にも使用することができる財源のこと。

【交付税】地方公共団体の財源の不均衡を調整し、地域に係わらず一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障するため、国から交付される収入のこと。

【元利償還金】地方債などの借入金に係る返済金のこと。

高校生の新メニュー開発



施策体系

第1節 協働環境の充実	定住	交流	連携
(1) 推進体制の整備	○	◎	◎
① まちづくりは“市民が担い手である”という市民意識の啓発を図るとともに市民や団体、企業が政策形成過程段階から参加できるさまざまな機会の創出に努めます。 ② 市民公益活動団体の自主性、自立性、公平性の原則のもとに相談・支援体制の充実を図ります。 ③ 行政が市民と対等なパートナーシップを構築するため、行政職員の意識改革に努めます。 ④ 市民協働を推進するための人材育成や、活動団体間におけるネットワーク強化の支援に努めます。			
(2) 協働情報の充実	○	○	◎
① 分かりやすい情報発信を心がけ、市政だよりや市のホームページの充実を図ります。 ② 市政懇談会や出前講座などを開催し、積極的な情報提供に努めます。 ③ 各団体の活動内容などを情報として積極的に発信し、市民参加や団体間の連携強化を促進します。			
(3) 地域コミュニティ活動の支援	◎	◎	◎
① 地域コミュニティ活動拠点を整備充実させます。 ② 町内会などの地域コミュニティ活動を推進する学習機会の創出や人材育成を推進し、市民間のコミュニケーションを促進します。 ③ 市民や団体が気軽につどい、交流できる場の提供や自主的な活動に対する支援体制の充実を図ります。			
(4) 男女共同参画の推進	○	○	◎
① 女性の就労率向上のため関係機関と連携し、男女雇用機会均等の啓発に努めます。 ② 審議会などの各種委員会に女性委員の登用を図り、女性の参画拡大を図ります。 ③ 家庭や学校教育、生涯学習の中で、男女共同参画の意識啓発を推進します。			

市民の声

「各団体が、連携することで、さらに大きな市民活動の力になります。」

「市民が、気軽に交流できる集まりやすい環境整備を進めて欲しいと思います。」

(市民懇談会ひとづくり分科会)



塩竈みなと祭に参加する
「しおがま文化大使」

第2節 まち情報共有の推進

定住

交流

連携

(1) 市政情報の充実

◎

◎

◎

- ① 市政だよりや市のホームページなどを通して、市政や暮らしの情報発信を積極的に推進します。
- ② 「しおがま文化大使」による活動やさまざまな方法によって、本市の魅力を「塩竈ブランド」として国内外に広く発信する体制の強化に努めます。
- ③ 市政情報の公開・広聴を充実し、市民との双方向の情報共有を推進します。

(2) 情報化の充実

◎

◎

◎

- ① さまざまなメディアの活用や連携によって、だれもが気軽に情報を受発信できる体制を推進します。
- ② 高度情報技術を有効に活用し、市民サービスの向上や各団体間のネットワーク化などの支援に努めます。



観光ボランティアガイド

市民の声

「市の広報紙やホームページでのまちの情報については、必要な情報を“受け止めてもらう”ような工夫が必要だと思います。」

(市民懇談会ひとづくり分科会)

「まちづくりへの市民参加を浸透させるためには、まち情報を発信し、さらなるPRを展開していくことが必要です。」

(市民懇談会ひとづくり分科会)

市民の声

「これからは縦割りではなく横断的・総合的な政策が大事になります。それにより、財政の健全化や、計画の目標達成が可能となると考えます。」

（地区懇談会南部地区）

第3節 行政力の強化	定住	交流	連携
(1) 開かれた行政運営の推進	◎	◎	◎
① 公正で透明性の高い行政運営を図るとともに、政策形成過程段階から積極的に情報公開に努めます。 ② 市民意識の啓発を図るとともに市民が政策形成過程段階から参加できるさまざまな機会の創出に努めます。			
(2) 行財政基盤の構築	◎	◎	◎
① 厳しい財政状況の中、一般財源の確保と事業の選択と集中に努めることで、質の高い市民サービスを提供し、市民から信頼される安定的な行財政運営を推進します。 ② 環境の変化と高度化する行政課題に対応するため、行政の組織力の向上と職員の人材育成を推進します。			
(2) 広域行政の推進	◎	◎	◎
① 広域連携による共通課題の解消を積極的に取り組み、効率的で質の高い行政サービスの提供に努めます。 ② 新たな時代に対応した広域連携の研究に取り組みます。 ③ 本市とゆかりのある都市とのさらなる交流に努めます。			

市民ができること ◆◆◆◆◆

- ☐ 市の広報紙などをおかかず読み、まちの情報に関心を持ちます。
- ☐ 町内会活動などに積極的に参加します。
- ☐ まち情報を共有し、本市の魅力を積極的に発信します。
- ☐ まちづくりの主役として、政策形成に積極的に参加します。



スクールサポーター

ひとくちメモ

協働推進室

施設内容

市民活動や町内会活動を支援するため、みなさんの活動に役立つ情報の収集・発信、印刷機など各種備品の貸出、会議スペースの提供等を行っています。
また、海辺の賑わい地区のショッピングセンター内の「塩竈市情報・交流コーナー『マリンプラザ』」もさまざまな市民活動の場としてご利用いただけます。

住所：〒985-0052 宮城県塩竈市本町 9-30
TEL：022-361-1773 FAX：022-361-1782



コラム

しおがま今昔 3

千賀の浦

～千年の時を越えて～



千年の時を越えて下京区に寄贈された鹽竈桜

今から千年以上前に書かれた『源氏物語』。その主人公「光源氏」のモデルといわれる源融は、嵯峨天皇の第八皇子で、864年に陸奥出羽の按察使（あぜち）になるなど諸国の官職を歴任、後に左大臣となり、当代一流の風流人として名をはせました。選任で、この地へは足を運ばなかったと考えられていますが、塩竈には「融ヶ岡」と呼ばれる場所が残り、ゆかりの深い人物です。

遠く都にあつて、源融は風光明媚な千賀の浦の風景に憧れ、京都六条（現下京区本塩竈町付

近）に、塩竈の風景をまねた大庭園「河原院」を造りました。難波から海水を運び池に汲み入れ、海の魚を放ち、塩を焼く煙を立ち上らせて、栄華風流を極めたといわれています。

都人にとって、「千賀の浦」は憧れの地であり、歌枕として多くの歌に詠まれました。

本市は、平成21年3月に開催された京都市下京区130周年記念式典に市長をはじめ各界の代表が出席し、千年の時を越えた交流が始まりました。また、記念樹として鹽竈桜が贈られ京都の地で花開いています。



現在の千賀の浦



今も千賀の浦に浮かぶ「籬島」

河原院の一部と考えられる「籬の森」
（京都市下京区本塩竈町付近）